

青色および黄色T1 アラームのトラブルシューティング

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

このドキュメントでは、青色と黄色の T1 アラームをトラブルシューティングする方法について説明します。

[前提条件](#)

[要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

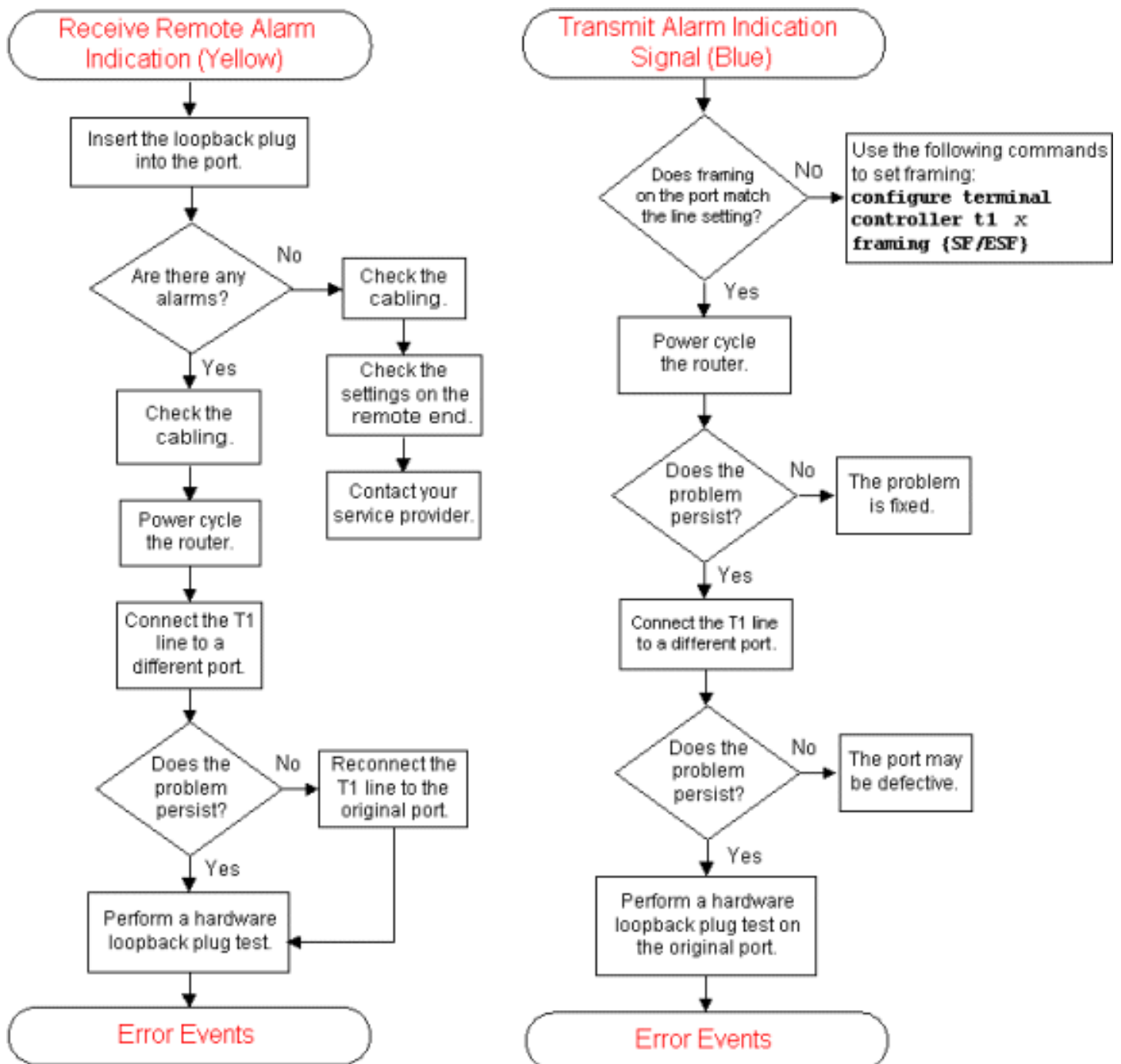
[背景説明](#)

Receive Remote Alarm Indication（黄色い）図に関する詳細については、グラフィックのコマンドボックスに対応するこれらのリンクをクリックして下さい:

- [ポートへのループバックプラグが](#)ハード プラグ ループバック テストにリンクするボックス [挿入](#)。
- ボックス [チェック](#) T1 アラームのトラブルシューティングへの[ケーブル接続](#)リンク。
- ボックス [電源の再投入](#) T1 アラームのトラブルシューティングへの[ルータリンク](#)。
- [異なるポートへの T1 行が](#) T1 アラームのトラブルシューティングにリンクするボックス [接続](#) [応答](#)。
- ボックスはハード プラグ ループバック テストへの[ハードウェア ループバック プラグ テスト](#)リンクを[行います](#)。
- ボックス [エラーイベントは](#) T1 Error Event のトラブルシューティングにフローチャートをリンクします。

送信 アラーム 表示信号 (ブルー) 図に関する詳細については、グラフィックのコマンド ボックスに対応するこれらのリンクをクリックして下さい:

- [フレーム化する T1 X](#) ボックス [Configure terminal コントローラは](#) T1 アラームのトラブルシューティングに[{SF/ESF}](#)リンクします。
- [異なるポートへの T1 が](#) T1 アラームのトラブルシューティングにリンクするボックス [接続](#) [応答](#)。
- ボックスはハード プラグ ループバック テストへの[元のポート](#) リンク [のハードウェア ループバック プラグ テストを行います](#)。
- ボックス [エラーイベントは](#) T1 Error Event のトラブルシューティングにフローチャートをリンクします。



関連情報

- [T1 アラームのトラブルシューティング](#)
- [Hard Plug のループバックテスト](#)
- [T1 エラー イベントのトラブルシューティングフローチャート](#)